

平成30年度
事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

公益財団法人 平和堂財団

事業計画

基本方針

教育、文化、体育の振興及び地球環境の保全に対する振興助成、寄贈、表彰及び社会的援助を必要とする児童の福祉助成事業を行い、もって地域社会の健全な発展に寄与する。

事業内容

I. 教育振興、教育活動への助成

合計 23,640千円

1. 学生並びに生徒に対する育英奨学金の支給

(1) 滋賀県内の高等学校等の本県居住の大学進学者に対する育英奨学金の給付(5月、11月)

12,600千円

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円(年額60万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

① 継続給付 16名 960万円

学年	給付開始年	人数
6回生	平成25年度	1名
4回生	平成27年度	5名
3回生	平成28年度	5名
2回生	平成29年度	5名

6年制医大生

② 新規給付(計画) 5名 300万円

1回生	平成30年度	5名
-----	--------	----

(2) 滋賀県内高等学校等の在学学生に対する育英奨学金の給付(5月、11月)

6,240千円

経済的な理由で修学が困難で、学力、人物ともに優れた生徒に対し、一人当たり月額2万円(年額24万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

① 継続給付 15名 360万円

学年	人数
3年生	10名
2年生	5名

② 新規給付(計画) 11名 264万円

新入学生(1年生対象)	5名
在校生(2・3年生対象)	6名

(3) 滋賀医科大学育英奨学金の給付(5月、11月)

1,800千円

学力、人物ともに優れた生徒で、経済的な理由で修学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円(年額60万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

学年	給付開始年	人数
3回生	平成28年度	1名
2回生	平成29年度	1名
1回生	平成30年度	1名

滋賀医科大学育英奨学生

対象者3名

2. 青少年教育活動への助成

- (1) 「第10回 いきいきすくすく淡海っ子活動」への助成 2,500千円

自然や文化とのふれあいを通して、心豊かで元気な子どもたちの育成を図ることを目的に地域で活動をしている人たちや団体に対し、滋賀県内で実施する諸活動や事業助成の公募を行い支援対象団体を選考し、その活動を支援する。

- (2) 「滋賀県次世代文化芸術センター」への助成 500千円

すべての子どもたちに、本物の芸術に触れる体験の機会をつくることで、豊かな心を育てる文化芸術体験学習を支援する。

II. 文化・芸術の振興活動、新進芸術家の育成活動への助成 合計 24,500千円

1. 新進芸術家活動等への助成

- (1) 新進芸術家活動等助成 8,000千円

- ① 芸術奨励賞の贈呈(3月)(計画) 270万円

本県内で活動している将来有望な新進芸術家に対し、芸術奨励賞(美術30万円・音楽50万円)を贈呈、その活動を支援し、本県の文化・芸術の振興に寄与する。

- ・芸術奨励賞対象者 美術部門 4名
- 音楽部門 3名

- ② 芸術奨励賞受賞者への活動支援 100万円

当財団の芸術奨励賞受賞者が県内等で行う文化・芸術活動等を支援する。

受賞者のコンサート、個展等への助成推進。 (一件当たり10万円まで)

- ③ 芸術奨励賞受賞者に対する海外留学等助成金の給付 180万円

当財団の芸術奨励賞受賞者のうち私費で海外研修や留学する者のうち、その資金の援助を求めるものに対し、経済的な支援を行い、有為な人材育成に寄与する。

- ・音楽部門 継続給付 1名(月額15万円×6か月)
- 新規給付 1名(月額15万円×6か月)

- ④ 芸術奨励賞受賞者によるミニコンサート 250万円 <委託費扱い>

平和堂店舗(セントラルコート等で)ミニコンサートを企画し、演奏チャンスを増やす。
滋賀・京阪・北陸地区大型店舗週末開催とし、2~3名で演奏。

(2) 新進芸術家美術展の開催

芸術奨励賞受賞者による「第24回 新進芸術家美術展」の開催 3,800千円
<委託費扱い>

これまでの美術部門の芸術奨励賞受賞者作品を一堂に集めて、日頃の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、本人たちはもとより、県民の文化活動に対する意欲向上を図るための美術展を10月下旬から11月上旬にかけて2会場で開催する。

ビバシティ彦根のビバシティホールと草津クレアホールにて開催。

*ビバシティホール

10/20(土)～10/28(日) 予定

*草津クレアホール

10/30(火)～11/4(日) 予定

(3) 芸術奨励賞受賞者による「第2回鳩の音楽会」の開催 6,500千円

<委託費扱い>

当財団の平成29年度の音楽部門の芸術奨励賞受賞者を中心にこれまでの受賞者たちも交え、日頃の演奏活動の成果を発表する機会を提供するとともに、本人たちはもとより、県民の文化活動に対する意欲向上を図るためのコンサートをひこね市文化プラザと琵琶湖ホール、高槻現代劇場の3会場で開催する。

9月22日(土) 彦根会場(300名)

9月23日(日) 高槻会場(500名)

9月24日(月・祝) 大津会場(600名)

(4) 音楽部門芸術奨励賞選考会(海外留学生選考含む) 1,500千円

<委託費扱い>

平成30年度音楽部門の芸術奨励賞選考会開催費用。

主な費用は、選考会(2次選考)会場のひこね市文化プラザ会場費、選考委員報酬、募集要項等販促物など。

・募集締め ⇒ 9月末予定

・一次選考 ⇒ 11月末予定(書類とCD音源による選考)

・二次選考 ⇒ 1月上旬予定(ひこね市文化プラザエコホールにて演奏)

2. 文化・芸術活動等への助成

(1) 文化・芸術事業への助成

4, 700千円

本県内で行われる文化・芸術催事および活動等に助成し、本県の文化・芸術の振興に寄与する。

助成先	内容	金額
びわ湖芸術文化財団	「第23回 湖国を描く絵画展」への協賛・助成とともに優秀作品1点を選び「平和堂財団賞」(賞状および記念品)を授与する。	55万円
びわ湖芸術文化財団	ユースシアター音楽劇への助成	30万円
琵琶湖ホール	i. オペラへの招待「ヘンゼルとグレーテル」	50万円
	ii. 声楽アンサンブル学校巡回公演助成	30万円
ひこね市文化プラザ	「クラシックへの目覚め with OEK」助成(中高生招待)	40万円
文化経済フォーラム	文化で滋賀を元気に! 賞への助成	30万円
その他	文化・芸術公演等への助成(学校訪問演奏、お話し会)	235万円

*その他1 = 学校訪問演奏「音の扉プロジェクト」奨励賞受賞者 宮本妥子・武田優美ら
4名による演奏会を6回(5小学校において)公演予定

*その他2 = 学校訪問お話し会「夢の課外授業(仮称)」 30年度は2回予定
絵本作家・学者・俳優等による授業を小学校で開催する企画

III. 各種アマチュアスポーツ活動等への助成並びに優秀選手の海外遠征への助成 合計 1, 460千円

1. 優秀スポーツ選手への助成

(1) 優秀選手海外等派遣費の助成(3月)

560千円

本県内高等学校等のアマチュアスポーツ選手で、国体やインターハイ、選抜大会等で上位入賞とし、日本代表として世界選手権大会など国際的な競技大会に出場する優秀選手に対して、更に世界的な舞台で活躍できるようように強化育成するための海外等派遣費(一人当たり7万円まで・対象選手8名を予測)を助成し、本県の体育、スポーツの振興に寄与する。

2. スポーツ行事・大会等への助成

- (1) 「第17回 かいつぶりレガッタ大会」へ協賛助成 400千円

滋賀県立琵琶湖漕艇場において10月開催予定の大会である。

(公財) 滋賀県体育協会主催の事業であり、毎年クルー数は60前後であり、参加選手300名・スタッフ100名・観客200名が見込まれる。
誰でも気軽に乗ることができる安全性の高いナックルフォア艇を使用している。

- (2) 「第13回 小学生駅伝大会」「第11回 中学生駅伝大会」へ協賛助成 500千円

びわ湖男女駅伝フェスティバルの中で開催される「小学生駅伝大会」及び「中学生駅伝大会」に協賛助成するとともに優秀チームには「平和堂財団杯」(賞状および記念品と持ち回りカップ)を授与する。

滋賀県体育協会主催の事業で、毎年11月に希望が丘文化公園で開催される。

IV. 地球環境の保全活動及びその研究、教育並びに普及活動への助成 合計 25,700千円

1. 環境学習活動等に対する支援

- (1) こどもエコクラブ活動への助成 700千円

滋賀県に登録している「こどもエコクラブ」の活動資金を助成する。

活動交流会助成	参加賞 2万円 (13団体程度)	26万円
	大賞 5万円 (1団体)	5万円
	奨励賞 2万円 (3~5団体)	10万円
	壁新聞参加賞 1万円 (13団体)	13万円
	児童参加商品 500円 (120名程度)	6万円
全国フェスティバル	選抜チームへの助成 (一件当たり10万円)	10万円

(2) 子ども環境教育活動への助成

2,000千円

学校や地域での教育や環境体験プログラムを通じて子どもたちの自然環境保全の認識を高め、その活動を通し環境推進を目的とする教育活動・研修活動等を支援する。

助成先	内容	金額
びわ湖クルーズ・ソーラーボート大会実行委員会	子供から大人までが、ソーラーエネルギーを利用した無人ボートを製作し、スピードおよび技能を競い、びわ湖環境を学習する。	30万円
環境と科学のフェスティバル実行委員会	滋賀県内の博物館が、参加者に科学・環境を理解するための入り口である「博物館」へ興味・関心をもつことを目的に取り組む事業。	20万円
びわ湖トラスト	<親子環境学習>	
	①megumiに乗ってびわ湖で環境を学ぶ(2回)	90万円
	②びわ湖でカヌーにのって環境を学ぶ	20万円
	③巨木のトチの木を見に行き環境を学ぶ(2回)	40万円

2. 地域における環境保全活動への助成

(1) 環境保全活動（夏原 Grant）への助成

23,000千円

滋賀県及び京都府内の豊かな環境の保全および創造のために自主的におこなうNPOや市民活動団体、または、学生団体活動で、先進的・継続的に実施する身近な環境保全活動および創造のための活動費を助成する（一件当たり50万円まで）。また、その活動団体に3年をメドに、継続活動の選考を実施し、さらに素晴らしい活動となるよう支援する。（新規20団体、2年継続に15団体、3年継続10団体程度を見込む）

<内訳>

*活動団体への助成金 1,500万円

*しがNPOセンター業務委託費 800万円

V. 児童福祉事業への助成

合計 11,000千円

1. 養護児童への助成（県内児童福祉施設等）

(1) 新入学児童（小学1年生）へのランドセル等の贈呈助成 900千円

県内児童福祉施設等に入所の児童を対象とし、次年度に小学1年生となる児童にランドセル・文具セット及び、ギフト券1万円分を贈呈する。

15名×6万円予定

(2) 自動車免許証取得の補助助成 1,800千円

4月1日現在18歳児童を対象とし、前年10月～当年9月末までの免許取得・申請とする。自動車免許取得時の領収書を参考に上限30万円の助成とする。

6名×30万円予定

2. 養護児童に対する育英奨学金の支給

(1) 滋賀県内児童福祉施設の児童で、大学進学者に対する育英奨学金の給付（5月，11月）

3,000千円

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円（年額60万円）の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

1回生	3名	2回生	2名	計	5名
-----	----	-----	----	---	----

(2) 滋賀県内児童福祉施設の児童で、専門学校等進学者に対する育英奨学金の給付（5月，11月）

1,800千円

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円（年額60万円）の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

1回生	2名	2回生	1名	計	3名
-----	----	-----	----	---	----

(3) 上記育英奨学金対象者に入学金・諸経費費用の助成 1,500千円

(1) (2)の対象者に入学金・諸経費費用の助成をおこなう。

一人当たり初年度30万円（5月）を給付する。

5名×30万円予定

3. NPO法人への助成

2,000千円

滋賀県内の自立援助ホームへの助成

（運営資金、スタッフ人件費等）

助成金（委託費含む）総計86,300千円